

# 週間感染症情報

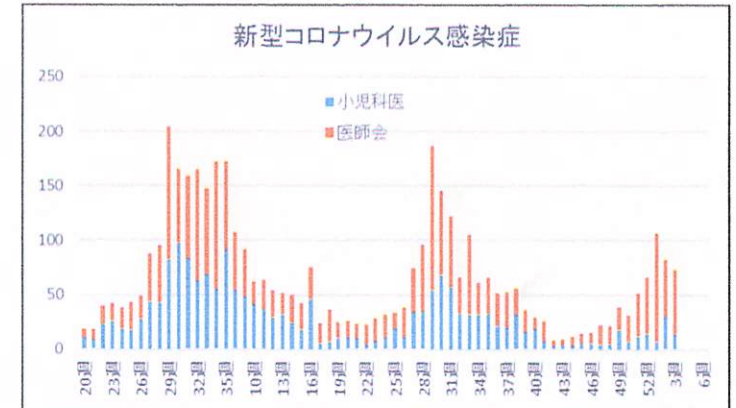
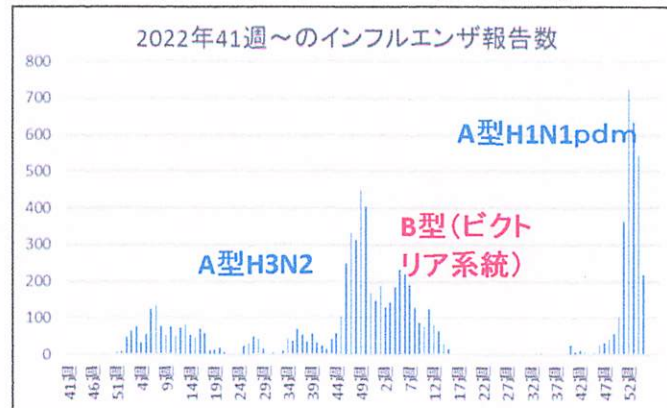
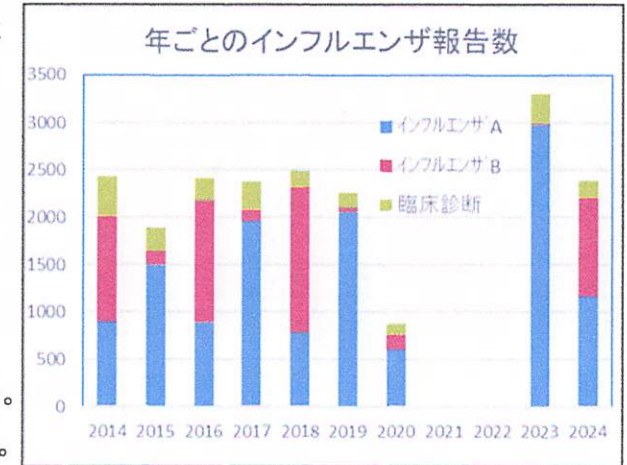
2025年2週～3週 2025年1月6日より2025年1月19日まで

2週 3週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	12	6
手足口病	1	
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	2	
感染性胃腸炎	35	29
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	3	
伝染性膿痂疹(とびひ)		
ヘルペス性口内炎		1
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		3
マイコプラズマ感染症	13	12
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	543	219
インフルエンザ A	491	199
インフルエンザ B	0	0
新型コロナウイルス感染症	83	74

2025年2～3週、2週間の報告です。左下のグラフのは、2022年41週からのグラフです。2022年48週からA型の報告が始まり。2023年はAH3H2(香港型)の流行が年間を通じてありました。2024年は新年よりB型の流行があり、春には終息しました。その後40週ごろよりA型(H1N1pdm)の報告が始まり52週に725例の大きな流行のピークを迎えました。ちょうど年末年始の休暇が重なり医療機関・救急共に混乱をきたしました。新学期が始まり心配されましたが3週には216例と急減しています。例年だとこれからB型の流行が始まりますが、マスクを着用して防ぎましょう。スギ花粉の飛散が始まりマスク着用率も上昇するのではと少し期待しています。

右の「年ごとのインフルエンザ報告数」からわかるように、コロナ対策で2021年と2022年はインフルエンザの報告はほとんどありませんでした。コロナの報告は増えており、小児の集団での報告もあり注意が必要です。ワクチンを接種しましょう。抗体の上昇に2週間程度必要です。体調不良の場合は休み、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)